

参考資料

- （1）総合計画改定に伴う団体ヒアリング結果
- （2）子どもへのインタビュー結果

(1) 総合計画改定に伴う団体ヒアリング結果

1) ヒアリングの概要

ヒアリングの概要	各団体に対し、活動状況、復興の進捗状況に対する評価や今後の重点項目、将来像、まちづくりの課題、行政との連携方針等についてヒアリングを行い、要素を「まちづくりの将来像のポイント」として整理する。
実施時期	平成27年3月6日（金）～3月27日（金）
対象者	町内10団体

2) ヒアリングの結果（まちづくりの将来像のポイント）

団体名	まちづくりの将来像のポイント
南三陸町復興推進ネットワーク	女性の働きやすいまちや子育てのしやすいまちを目標に、いろいろな人をつなぎ、町にあるものや人々の時間をうまく分け合いながら多様な事業が生み出されている。
南三陸町公民館	女性の働きやすいまち、高齢者の活躍できるまち、若者の起業できるまちを目標に、地域の人々をつなぎ、課題をうまく解決しながら、内外にその先進性を発信し、町の価値が高まっている。
宮城県漁協歌津支所	山川海がある立地を大事にしながら生産物や食、地域デザインを磨いてその価値を高めると共に、三陸道IC整備を活かし交流が盛んになっている。
南三陸町P.T.A連合会	学校と家庭、地域の連携により子育てのしやすい町になり、子供たちが地域の文化を学び、国内外との交流もある成長する町となっている。
南三陸町社会福祉協議会	地域密着型の生活サービスがあり、女性の働きやすいまち、子供が育てやすいまち、高齢者の活躍できるまちになっている。地域コミュニティが再生され、安心して暮らせる町となっている。
宮城県漁港志津川支所	近接する山川海の環境を守り、その資源を活かして町の価値を高めている。また、地域コミュニティの再生が図られ、三陸道IC整備を活かし、交流を活発にする中で、町の賑わいが生み出されている。
南三陸森林組合	近接する山川海の環境を守るとともに、その資源を活かして町の価値が高まっている。企業研修の場などとして滞在型の交流が発展し、まちの活性化が図られている。
南三陸町商工会	海と食資源を活かして町の産業の再興を図るとともに、事業を興しやすい町になる。居住地と商店街が離れるので、移動しやすいような交通が工夫されている。
南三陸農協志津川支店	近接する山川海の環境を守るとともに、その資源を活かし、エコタウンとして町の価値を高める。農地景観を活かして観光と連携し、6次産業化ができている。
南三陸町観光協会	町の資源や人のつながり・コミュニティを活かして地域が復興し、町外の学校や企業などと交流が活発となっている。また、町外から応援で来た人も定住できるまちになっている。

(2) 子どもへのインタビュー結果

1) インタビューの概要

インタビューの目的	総合計画の策定にあたり、今後のまちづくりの担い手となる子ども（小学校高学年～高校生）に対して、それぞれが持っている価値観や考え方、町に対する印象等をたずね、計画の内容を若い人の視点で確認するために活用する。
実施時期	平成27年7月13日（月）～7月24日（金）
対象者	町内の学校に通う小学校4年生～高校3年生 <内訳> ・志津川小学校：5名 ・伊里前小学校：5名 ・志津川中学校：6名 ・歌津中学校：6名 ・宮城県志津川高等学校：8名
インタビューの内容	以下①～③の内容をインタビュー形式で質問する。 ①町の良いところ ②町のよくないところ ③将来の町について

2) インタビューの結果（概要）

①町のよいところ

i) 海や山など自然が豊かで、食べ物がおいしい

小学生	<ul style="list-style-type: none">・おいしい魚などがとれる。カゴ上げという魚を捕る仕掛けがある。・海がきれい。夏には泊浜近くの長須賀海岸で泳げる。・田東山など自然が豊か、いろいろな植物や動物がいる。・田東山、志津川小学校から見る景色がきれい。・新鮮な空気が吸える。ずっとこちらに住んでいるので、こちらの空気が良い。
中学生	<ul style="list-style-type: none">・海産物が有名でおいしい。・志津川中学校から見る山、川、海がきれい。・海で釣りをするのが好き。昔は海水浴もしたし、山や川でも遊んだ。・海で散歩をしたり走ったりするのが好き。・海を見ていると安心できる、元気が出る。・森林など身近な自然が豊かである。
高校生	<ul style="list-style-type: none">・海の幸があるし、山菜や季節のものもある。他の県から来た方が美味しいと言ってくれ、実際に美味しいと思っている。良いところというか、自慢だ。・季節の魚が食べられるのが良い。開口日にはいっぱい捕る。・中学校の頃から祖父と一緒に海に出て漁に連れて行ってもらった。・南三陸には海はかけがえのないものだと思う。・初日の出を荒島に見に行った時に、本当に海がきれいで自然が豊かでいいなと思った。・家が流されたため、しばらく海が怖いと思ったが、その後戻ってきて、震災前に海で遊んでいたことを思いだし、とても懐かしく思った。・海をずっと見ていても飽きないという友達も多い。・小さい頃から遊ぶ場所が無い町だと思っていたが、海や川で遊んで触れあえたのが良かった。

ii) 人が優しい、人と人とのつながりが深い、助け合いの意識がある

小学生	<ul style="list-style-type: none"> 事件が少なく、穏やかに暮らせる。 子どもからお年寄りまで元気がよく、自ら進んで挨拶する。
中学生	<ul style="list-style-type: none"> 町民が親切である。知らない人でも挨拶してくれる。 行事で手伝ってくれるなど、協力性が高い。 気軽に町の人に“おかげり”、“ただいま”と挨拶したり、話したりできる。
高校生	<ul style="list-style-type: none"> 初対面でも他人ではない感じがする。 人付き合い、人の良さが特徴的だと思う。 人と人との繋がりが深くて、町民の皆が温かみを持っている。 仮設暮らしになって地域が別々の方が集まつたが、挨拶してもらえるし、「疲れてないか？」と顔色も見てくれる。 山のものを採ってきて、海のものと物々交換する近所つき合いもある。 道案内をするなど、町に来てくれる方々に感謝して接している。 震災を通じて助け合うことが意識の中に潜り込んでいて、生活で困ったことがあった時に、何も言わなくても手を差し伸べてくれる。 知らない人が助けてくれるなど、人のために生きるということが、当たり前に出来ている。 南三陸の人は別の人を引きつける力がある。 家族にその話をしなくとも、その一週間後にはそのことが家族に伝わっている。 学校外での活動が新聞やテレビで紹介された時に、それを見たよと励ましてくれる。 場を盛り上げる人が多い。福興市で大人子ども関係なく一緒に乗ってくれる。震災があっても落ち込むのではなく、諦めずに盛り上がるところがすごい。

iii) 歴史や地域の資源があり、伝統をつないでくれる人がいる

小学生	<ul style="list-style-type: none"> 神割崎など、伝説がいっぱいある。 さんさん商店街がある。商店街ができて観光客が増え、町の人との関わりがより深まり、新たな友達もできた。商店街はものを揃えられるし、待ち合わせ場所にもなる。 福興市が月1回行われている。 にぎやかで新しいまちができる。
中学生	<ul style="list-style-type: none"> 魚竜化石がとれる。 おいしん、まるあら（海産物）、たいしゅう等、昔からのお店がある。
高校生	<ul style="list-style-type: none"> 子供達に南三陸の歴史を伝えてくれる人がいて、南三陸のことを絶やさない、伝統を繋いでくれる人がいる。 商店街では、キラキラ丼を提供するなど、町の良い特徴を生かそうとしているのが良い。

iv) その他

中学生	<ul style="list-style-type: none"> 小学校・中学校・高校の連携がとれている。特に吹奏楽部は各校合同でバンドを組んで音楽祭へ出演するなど、仲が良い。
高校生	<ul style="list-style-type: none"> 今は南三陸が好きだが、震災前には無かった感情である。震災前はこの町から出て行きたいと考えており、震災後に町外に引っ越したが、戻りたくなって戻ってきた。

②町のよくないところ

i) 買い物をするのが不便

小学生	<ul style="list-style-type: none">お店が少ない。食料品などを買うのに不便。スーパーがなく、佐沼まで行かなければならない。学校で使うノートを買う店が無く不便だなと思う。
中学生	<ul style="list-style-type: none">現在ある仮設商店は観光客向けの商品が中心であり、毎日の生活に役立つもののが少ない。特に生鮮食品（生もの）を扱うお店がない。文房具など必要なものをすぐに手に入れられない。今でこそ最低限のものは揃うが、土日に必ず石巻等に行かなければならない状況は変わっていない。病院や診療所が少ない。コンビニが遠い。
高校生	<ul style="list-style-type: none">震災前は町独特のお店があり、大人や子供の拠り所になっていたが、津波で流された。毎週佐沼や気仙沼に行って買い込むので、町内で買える物も遠くに行った際に買うことになり、町内の店の売り上げに影響すると思う。

ii) 道路状況が悪い、道路が危険、交通の便が悪い

小学生	<ul style="list-style-type: none">歌津大橋が無くなり、道路が渋滞したりする。横断報道や街灯が少ない。夜になると暗くて前が見えない。ダンプカーがいっぱい走っていて危険で、環境に悪い。海の近くが砂利道になっており、雨が降ると車で行けなくなるので困る。
中学生	<ul style="list-style-type: none">道路が舗装されておらず、狭い。自転車の荷物が落ちる。自転車通学をする生徒もいるが、車が近くを走るので危ない。工事車両が頻繁に行き来するので、安全に歩けない。歌津大橋の迂回ルートでは対向車が見えないところがあるので危ない。道路にコンビニの袋や缶などのごみが落ちているところもある。
高校生	<ul style="list-style-type: none">散歩コースも無くなり、外に出て歩く機会も少なく、他の人と顔を合わせる機会も減った。交通の便が悪くなったり。BRTが走るようになっていろいろな場所に行けるようになったし、佐沼まで町民バスが走っているのはお年寄りにも良いが、渋滞もある。排気ガスや土埃が多く、自転車やバイクでの移動が危ない。

iii) 復興事業で自然が減っている

小学生	<ul style="list-style-type: none">ほとんどの家が高台に移ったので、防波堤は要らないと思う。家を作るのに集中しすぎて森が減っている。木を切っているので、動物が少なくなっている。動物が家や学校に降りてくることがある。
中学生	<ul style="list-style-type: none">土が盛られてしまい、景観が悪くなったり。せっかく緑が多い町なのに、道路から海や自然が見えづらくなってしまっている。住宅をつくる工事が行われており、山の木が切られ、自然が失われている。
高校生	<ul style="list-style-type: none">工事で山が削られ、土の茶色ばかり目に入る。自然豊かな町で花や虫を見て育ってきたのに、今の子供達はそれが出来ない。以前の町のきれいな空気、緑、環境が無くなってしまうのではないかと不安。

iv) 子どもが遊んだり勉強したりする場が少ない

小学生	<ul style="list-style-type: none"> 公園など遊ぶ所が少ない、遊具が少ない。 思い切りボールを蹴りたい時があるので、遊ぶところがほしい。
中学生	<ul style="list-style-type: none"> 運動施設が減っている。ボールで遊ぶことができない。子どもたちの運動能力が下がってしまうのが心配である。 仮設住宅には駐車場しかなく、集会所は高齢者が使っているので利用できない。家が密集しているので、家の中でも騒げない。
高校生	<ul style="list-style-type: none"> 小さな子供達がお兄ちゃんやお姉ちゃんと遊ぶ経験が無い。 今の子供達はカードゲームでしか遊べない。以前はカードゲームだけでなく、キャッチボールやキックベースをしたり、ブランコも壊れるくらいの勢いでこいで遊んだ。 町の図書館に行って本を借りていたが、今は学校の図書室しかない。自分は時々絵本を読みたくなるが、学校の図書室には絵本は置いてない。 中高生が勉強する場所は学校しかない。仮設住宅の中は勉強する環境ではない。

v) その他

小学生	<ul style="list-style-type: none"> ガレキがまだ少し残っていて危ない所がある。 観光地があまり無い。
中学生	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊施設が少なく、観光客も日帰りで帰ってしまう。 震災前は家を出たらすぐに家があるような環境であったが、震災後は家が近くになくなってしまい、人が来てくれない。 観光名所がない（震災以前から）。
高校生	<ul style="list-style-type: none"> 仮設住宅だと声が聞こえてうるさい。ゆっくり寝たいと思ってもできない。

③将来の町について

i) 明るく賑やかで活気のあるまち

小学生	<ul style="list-style-type: none"> とても賑わい、笑顔の絶えない町。 今住んでいる人が集まれるように、お店がいっぱいてきて、にぎやかなまち。 伝統的な店があり、面白い町。 観光地になって、皆が来る賑やかな町になって欲しい。 他市や他県の人が驚くような町にして、賑やかな町にしたい。 水族館や観光客が来られるところがあるまちにしたい。 花火大会をより面白く、より大きな行事にし、みんなで楽しく話せるような場にしてほしい。
中学生	<ul style="list-style-type: none"> 人口が戻り、多くの観光客で賑わう町になってほしい。観光名所や宿泊施設を増やすことで、それが実現できると思う。 震災後、今まで町にいた人が町外へ出て行ってしまっているので、町へまた戻ってきてもらいたい。 国内外に自慢できるようにしたい。 明るく活気のある町にしたい。震災で亡くなられた方の気持ちを明るくしたい。 町内には神割崎、歌津の魚竜化石、入谷の巨石、金の採掘、血の池等の伝承があるので、これらをもっとPRしていくべきだ。

ii) 自然と共存できるまち

小学生	<ul style="list-style-type: none"> ・機械などをあまり使わず、環境に良いものを使う町にしたい。自然のものを使うことで、海や山を守りたい。 ・今までのように新鮮な空気がいっぱいの自然なままが良い。 ・施設がいっぱいあり、自然もいっぱいある穏やかな町がいい。
中学生	<ul style="list-style-type: none"> ・活気ある町にするために自然を壊すのではなく、自然でさらに活気ある町にしてほしい。 ・小さいときは山や川で遊び、自然については楽しい思い出しかないので、これから生まれてくる子どもたちにも自然を味わってほしい。 ・自然と人が互いに関わり合うまちにしたい。 ・観光客にも自然をたくさん見てもらいたい。体験等で海や山を知ってほしい。 ・嵩上げしても海が見える町になってほしい。海は町にとって大事な要素である。 ・海産物だけでなく、山も人も素晴らしいので、それをアピールしたい。海産物を取っている写真を見せたり、今まで知らなかつた歌津を見せたい。
高校生	<ul style="list-style-type: none"> ・無くなつた自然を以前の南三陸町よりもさらに取り戻したい。そのために、山や海のゴミ拾いのボランティア活動や、植樹や花を植える活動ができればいい。 ・復興で水もきれいになつたらいいなと思う。

iii) 震災前の良さを受け継ぐまち、震災前よりも住みやすいまち

小学生	<ul style="list-style-type: none"> ・津波が届かない高いところにある、平和な町。
中学生	<ul style="list-style-type: none"> ・工事が落ち着いて静かな町になってほしい。昔は比較的静かな町だった。 ・観光客には震災復興としてではなく、復興した後の南三陸町を見てもらいたい。 ・今がスタートなのではなく、震災前からがスタートであると思っている。震災前を上回るには、町の自然を大事にしながら取り組む必要がある。 ・以前のように商店が並び、景色を眺められるようにしたい。
高校生	<ul style="list-style-type: none"> ・単に元の姿を取り戻すのではなく、より住みやすいまちづくりをしたい。 ・昔の思い出や町の風景が戻り、町を出た人がまた戻ってきててくれるといい。 ・復興が進むと新しい遊び場が出来ると期待している。 ・震災後に出来た交流関係や自分の中に根づいたものを、復興に繋げていきたい。 ・復興で町が変わりすぎるのが怖い。以前からの町の良さを継いでいくのは良い。 ・コミュニティの場をもっと作るようすれば繋がりが強くなると思う。 ・都会ぶらない南三陸町が好きだ。復興が終わった後に南三陸町が都会になつたら、皆も戻ってきづらいと思う。皆が帰ってきやすい町であればいいと思う。

iv) その他

小学生	<ul style="list-style-type: none"> ・田東山をパワースポットにする。 ・将来、漁師になりたい。
中学生	<ul style="list-style-type: none"> ・健康を保てるようなまちがいい。少子高齢化が進むので、病院が増えたら良い。 ・月1回程度震災の語り部をするなど、観光客やボランティアに対して震災を風化させないように広め、災害の時も一人でも多く生きられるようにしてほしい。 ・オクトパス君を売り出したい。ふなっしーのように喋りダンスができるといい。
高校生	<ul style="list-style-type: none"> ・役場で開催した「まちどまワークショップ」に参加した。町民の声を直接聞いて町を良くしようという姿勢は、震災が起きた町ならではの取組でとても良い。 ・海の良さ、町の良さ、人の良さをもっと強くするため何をすれば良いのか、何を建てれば良いのか等を考えながら取り組んでいくことが大事だと思う。